

## 住民参画による事故対策の立案

対策事業



萩市土原地区交通安全ワークショップの実施

国道191号の山口県萩市土原地区は、通学路、観光ルートでありながら、死傷事故率約145件/億台キロ（H11～H16平均）と、事故率の高い区間です。

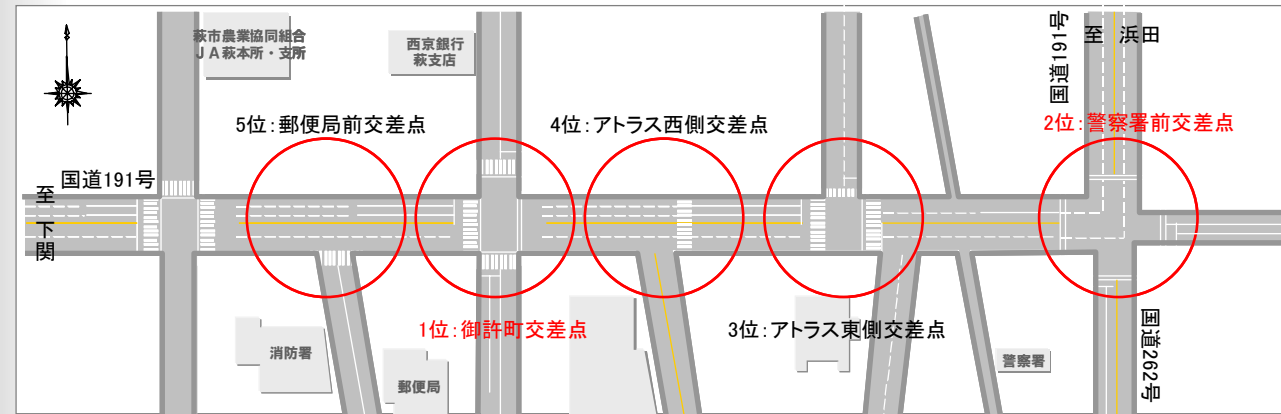
そこで、この区間の事故削減を目的として、一般の方約600人のアンケート結果を基に、ヒヤリ箇所や危険箇所について地域住民の方と一緒に現地点検を行うとともに、今後の対策案について話し合いました。

※ヒヤリ箇所：

事故には至らなかったものの、一歩間違えれば事故となる可能性を体験した箇所



現地点検の状況



アンケート結果に基づくヒヤリ箇所ランキング

### ■ ヒヤリ箇所ランキング上位2箇所における対策の立案

交通安全ワークショップによりヒヤリ箇所ランキングの上位2箇所についての具体的な対策案を決定しました。

今後は交通安全ワークショップで決定した対策案を実施していくとともに、事故発生の経過を観察しつつ、更なる交通事故削減に向けた長期的対策案の検討を行っていきます。

現地点検後の話し合いによる 主な課題・問題点抽出		対策における 必要要件の設定	対策方法の立案
御許町 交差点	右折信号の時間が短い	車両の視認性の確保	<p>地下道の外壁撤去</p>
	左折時に自転車の見通しが悪い		
	地下道がこわい		
	地下道が死角になっている		
	電動車イスが外壁で見えない		
警察署前 交差点	左折時、自転車横断者が見づらい	歩行者の安全確保	<p>横断歩道の設置</p>
	自転車がスピードを出して突っ込んでくる		
	地下道にごみが多い		
	見通しが悪い		

御許町交差点  
地下道外壁撤去イメージ

警察署前交差点  
横断歩道設置イメージ

取組み概要

## 事故要因の分析による事故対策

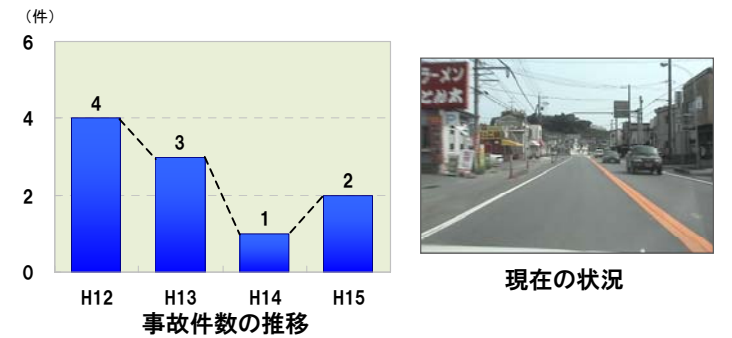
対策事業



岩国市錦見 事故対策決定

国道2号岩国市錦見は、過去4年間で12件の死傷事故が発生していました。

この区間では追突や沿道店舗からの出入り車両との接触等、車両相互の事故が多く発生しており、これらの交通事故削減を目的に、事故要因を把握するとともに、今後の対策案を決定しました。



事故件数の推移

現在の状況

取組み概要

### 事故要因の把握

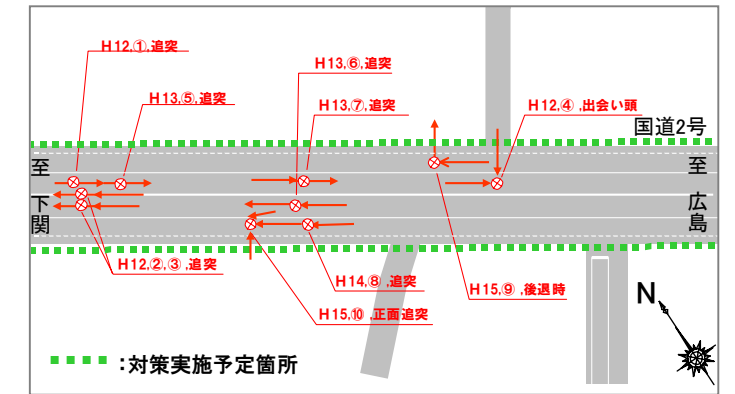
- ・市街地内の2車線の道路で沿道施設出入口や細街路の位置が確認しづらい
- ・道路境界、特に歩車道境界が不明瞭

### 対策案の決定

- ・歩車道境界ブロックの設置
- ・視線誘導標の追加設置

### 対策の実施・経過観察(今後)

- ・対策を実施していくとともに、対策後の事故発生状況の経過を観察していきます。



## 対策後の経過観察に基づく追加事故対策案の決定

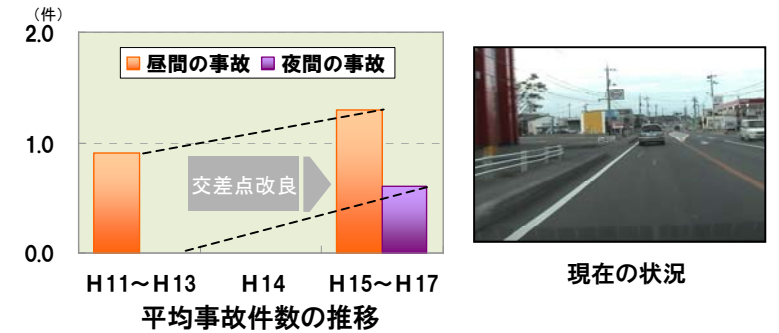
対策事業



宇部市東岐波 事故対策決定

国道190号の山口県宇部市東岐波は、事故多発区間であったことから、平成14年に交差点改良を実施しました。

しかしながら、その後の事故発生の追跡調査により、事故の削減効果が見られなかったため、事故要因を分析・把握し、更なる追加対策案を決定しました。



平均事故件数の推移

現在の状況

取組み概要

### 事故要因の把握

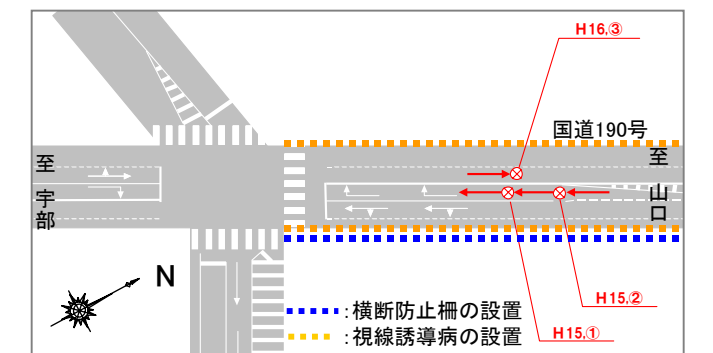
- ・歩行者の乱横断により重傷事故が発生
- ・夜間の事故が増加

### 対策案の決定

- ・横断防止柵の設置
- ・視線誘導標の設置

### 対策の実施・経過観察(今後)

- ・対策を実施していくとともに、事故発生の経過を把握していきます。



人と自然を大切にするみちづくり